



[事例紹介]

**富山市の産後ケア事業の取組と、
広域連携市町村からの受け入れについて**

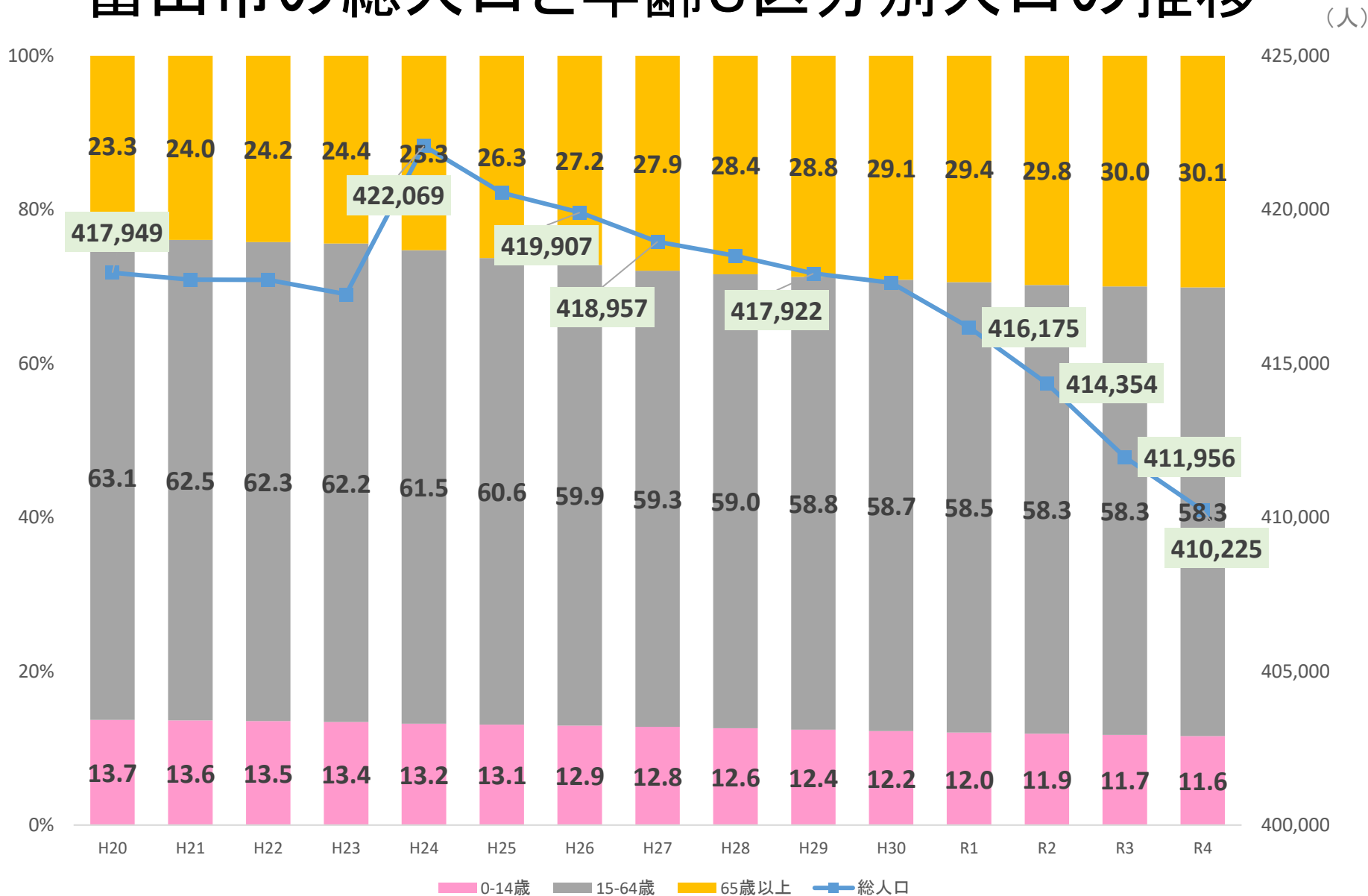
富山市の位置



立山あおぐ特等席。富山市

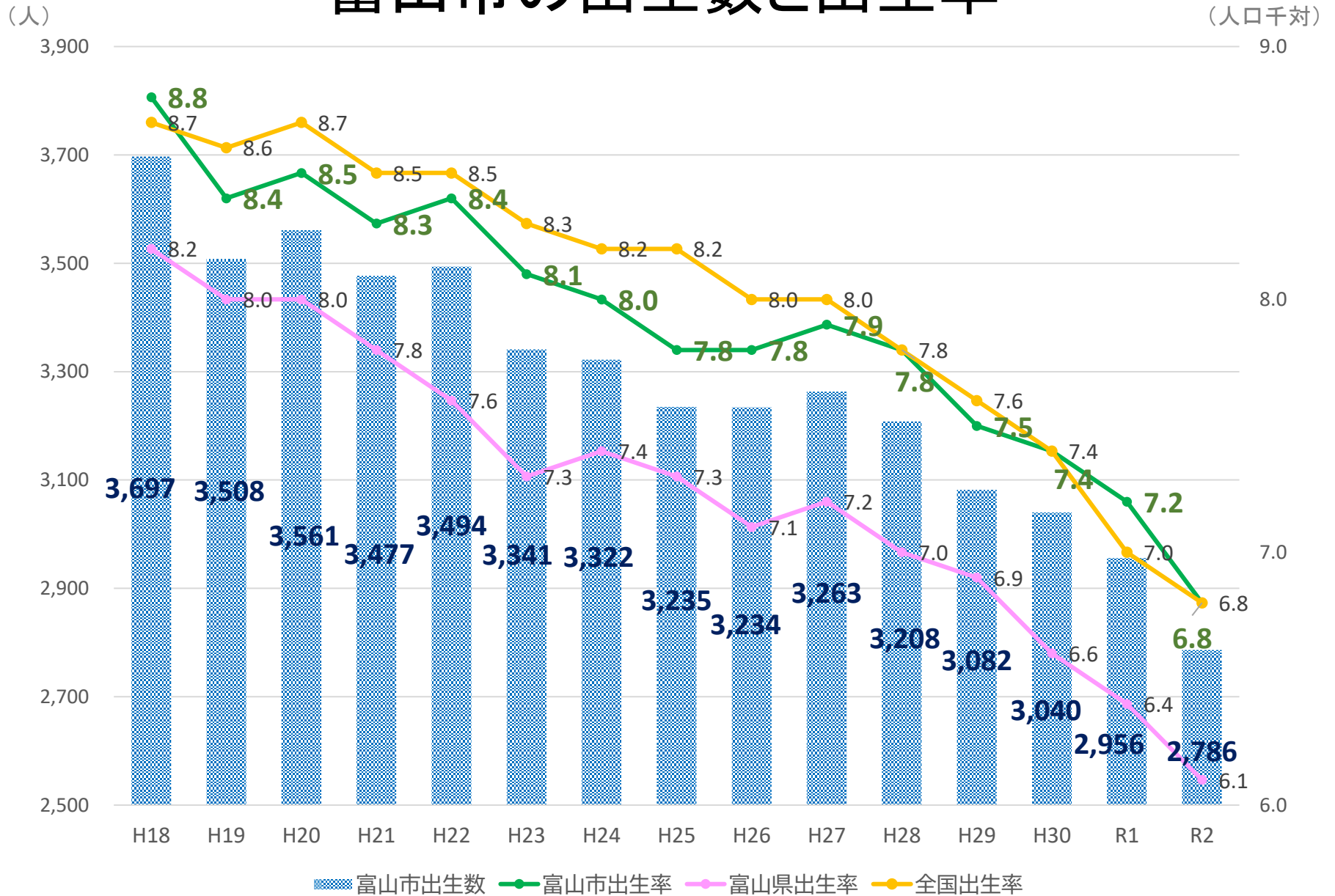
- 1996(平成8)年に中核市となる。
- 2005(平成17)年の市町村合併により、水深1000mの富山湾から、3000mの北アルプス立山連峰までが富山市となる。
- 人口 410,225人 (R4.7月末現在)
- 面積 1,242km²

富山市の総人口と年齢3区分別人口の推移



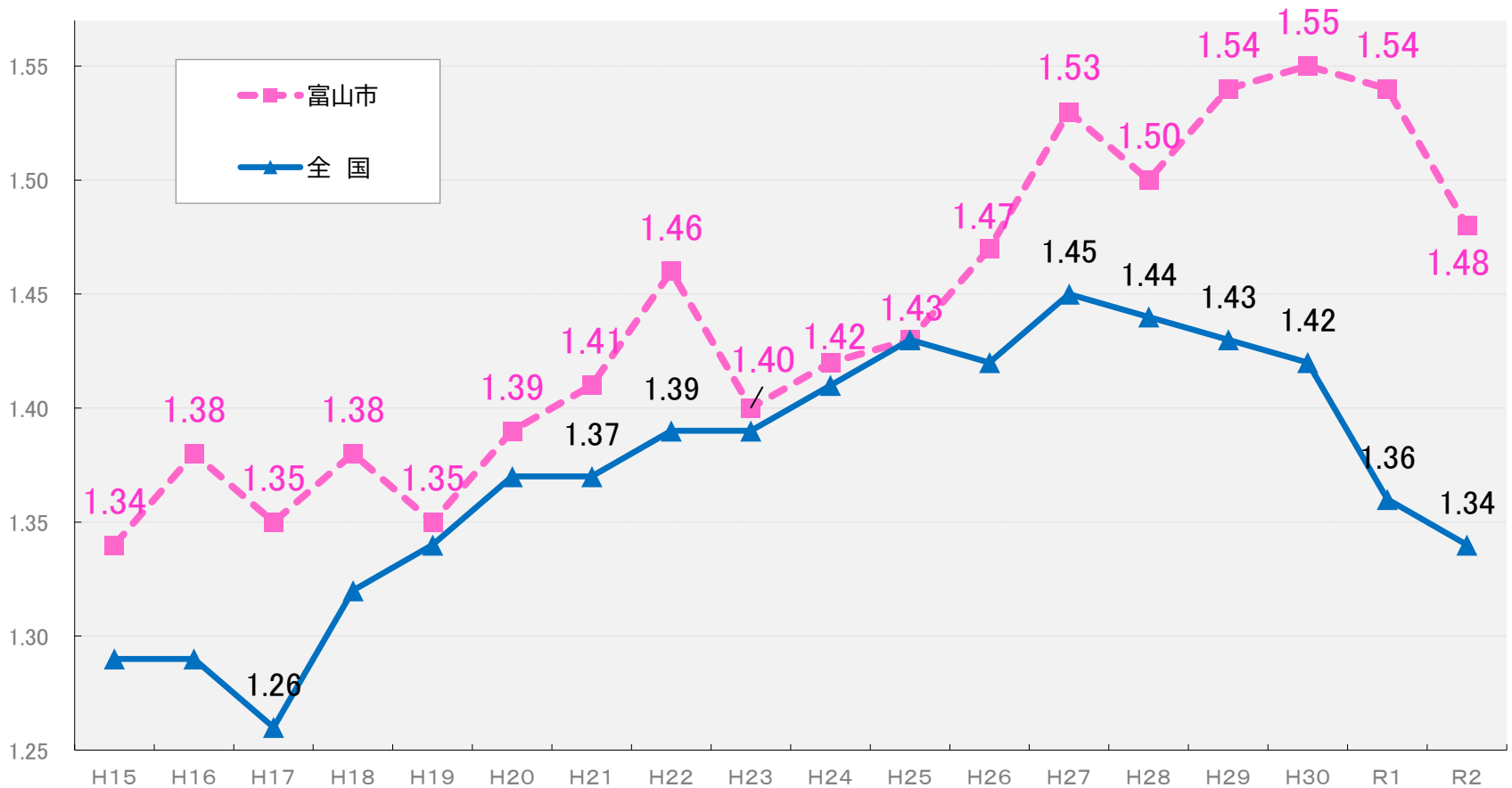
各年9月末(R4は7月末)の数値。 出典: 富山市情報システム課

富山市の出生数と出生率



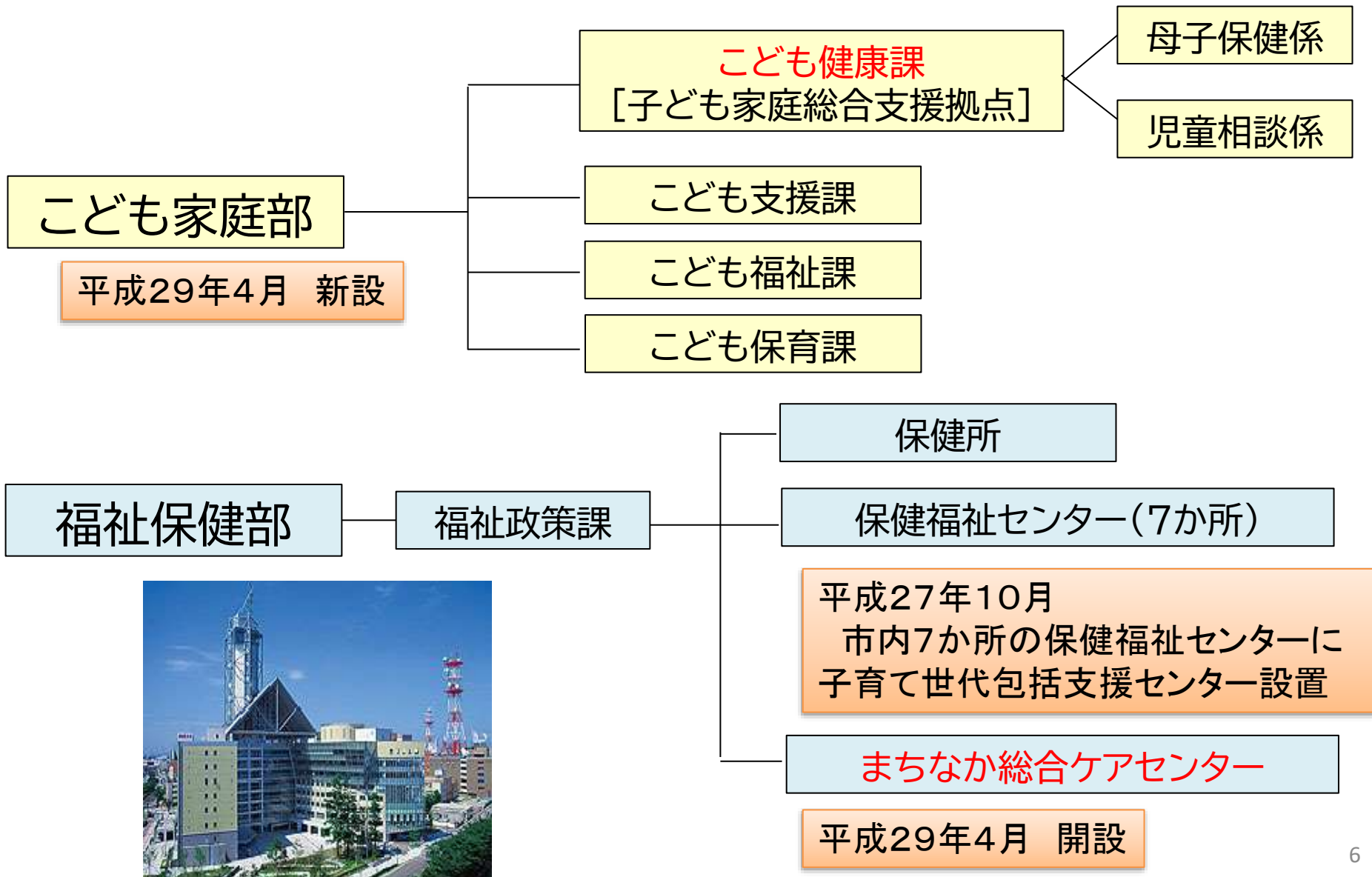
出典: 厚生労働省 人口動態統計

富山市の合計特殊出生率



富山市の合計特殊出生率は改善傾向、全国の値を上回っている。

富山市 母子保健関係課機構図



富山市の産後ケア事業

種別	児の月齢	担当課	備考
宿泊型	5か月未満	まちなか総合ケアセンター 産後ケア応援室 (☎076-461-3541)	
デイケア型			1日デイ(9:30～19:00) 午前デイ(9:30～13:00) ショートデイ(9:30～15:30) 午後デイ(13:00～19:00)
子育て教室			週1回(午前・午後)開催。
子育て交流ひろば 「ままのわ」			月1回、プレママを対象に 交流会と見学を実施。
居宅訪問型	1歳未満	こども健康課 (☎076-443-2248)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月開始 ・委託助産所3か所
産後のママ・レスパイト事業	4か月未満		<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア応援室において、乳児の一時預かりと、母親の相談支援を実施。 ・1回につき最長4時間、月3回まで(平日のみ)。

富山市まちなか総合ケアセンター



富山市まちなか総合ケアセンター



平成29年4月開業

施設概要

【延床面積】	2446.61m ²
【構 造】	鉄骨造（3階建）
【駐 車 場】	5 台（送迎用）
【整備手法】	P P P 方式
【費 用】	1,149,120千円
他	災害時用電源25h確保

各施設の概要

- 3階 産後ケア応援室 ★公設公営**
・概ね産後4か月までの母子を対象に産後ケアを提供
- 2階 まちなか診療所**
・在宅医療のみを行う診療所
- 医療介護連携室**
・医療や介護の連携のための事業実施
- 病児保育室**
・病児保育事業
・お迎え型病児保育事業
- 1階 こども発達支援室（指定管理）**
・児童発達支援
・乳幼児の発達支援相談
- まちなかサロン**
・多世代にわたる市民が参加できるイベントやまちなか保健室の開催
- その他 カンファレンスルーム・地域連携室**

産後ケア応援室

客室(5室)



乳児保育室



相談室(2室)



産後ケア応援室

デイルーム・ダイニングルーム



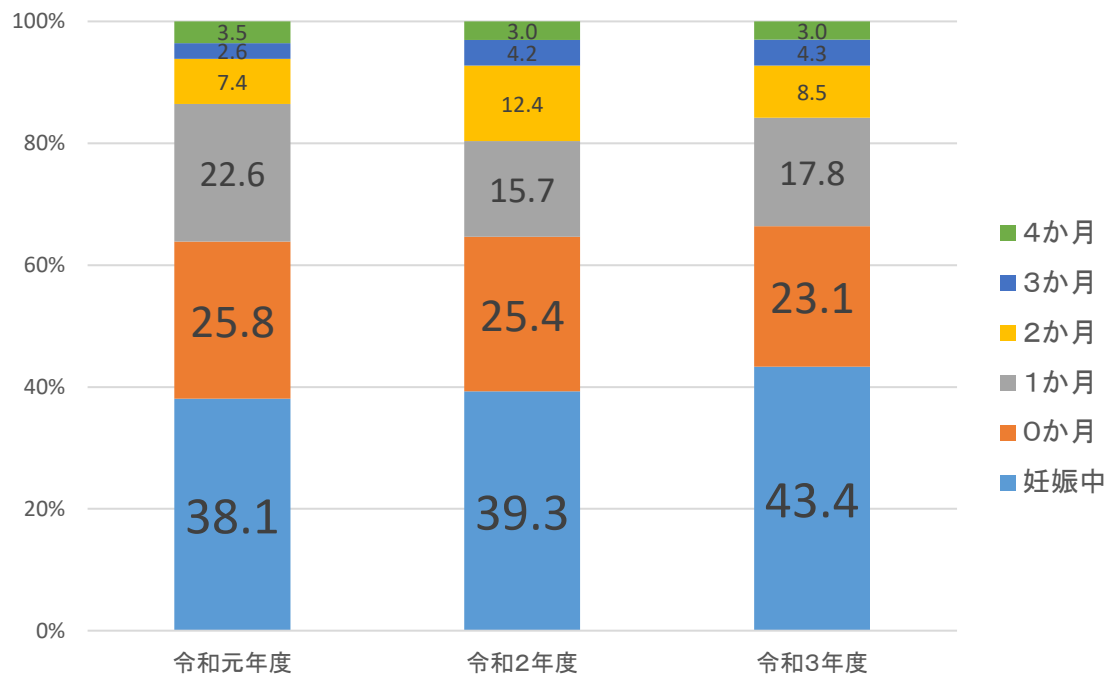
産後ケア事業の利用状況等 (令和元～3年度)

1 事前登録者数

(人)

	新規登録者数	(うち連携市町村)	前年からの繰越者数	合計
令和元年度	310	12	119	429
令和2年度	331	24	117	448
令和3年度	399	20	112	511

2 事前登録の時期

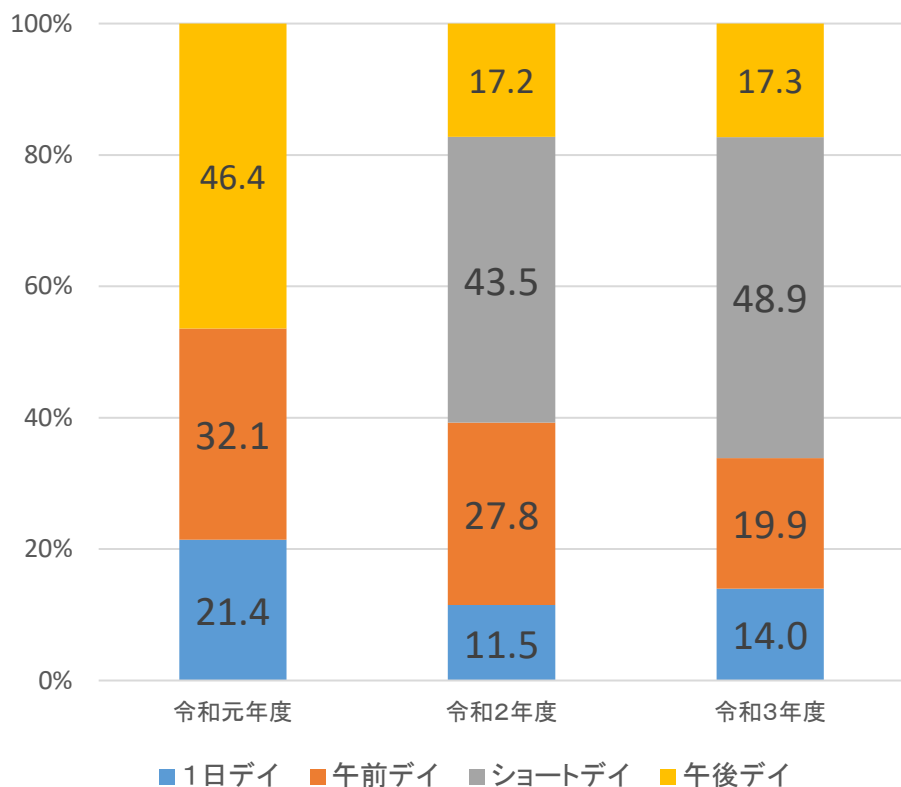


事前登録は、
妊娠中、次いで
0か月が多い

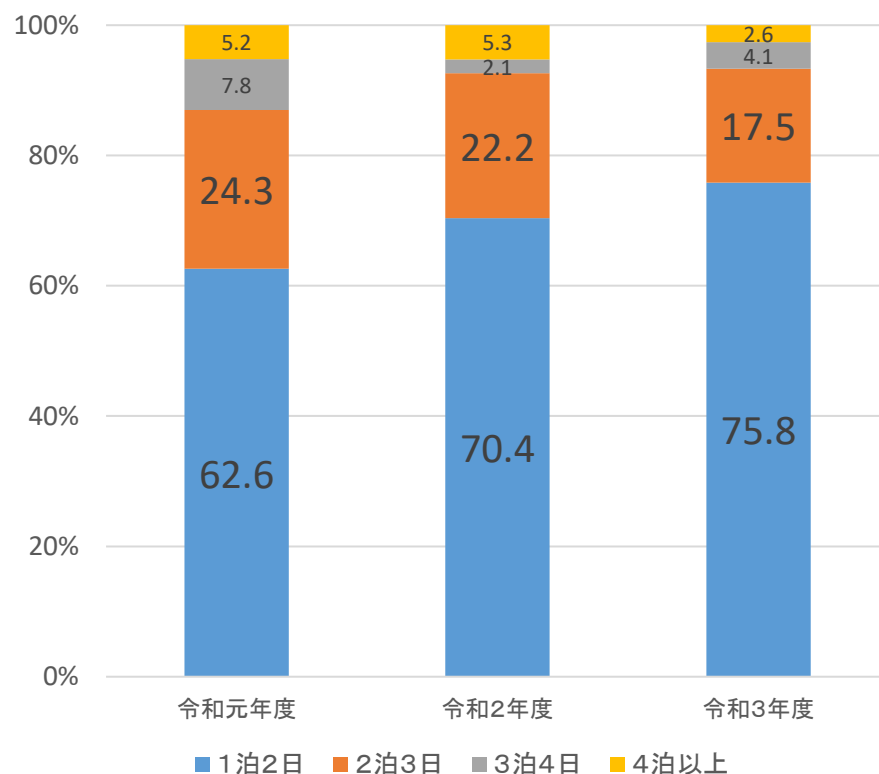
3 利用者数(実数)

	デイケア	(再掲)連携 市町村	宿泊	(再掲)連携 市町村	(人)
令和元年度	75	4	105	3	
令和2年度	93	2	77	8	
令和3年度	119	6	122	10	

4 デイケアの利用者数(延数)



5 宿泊の利用者数(延数)

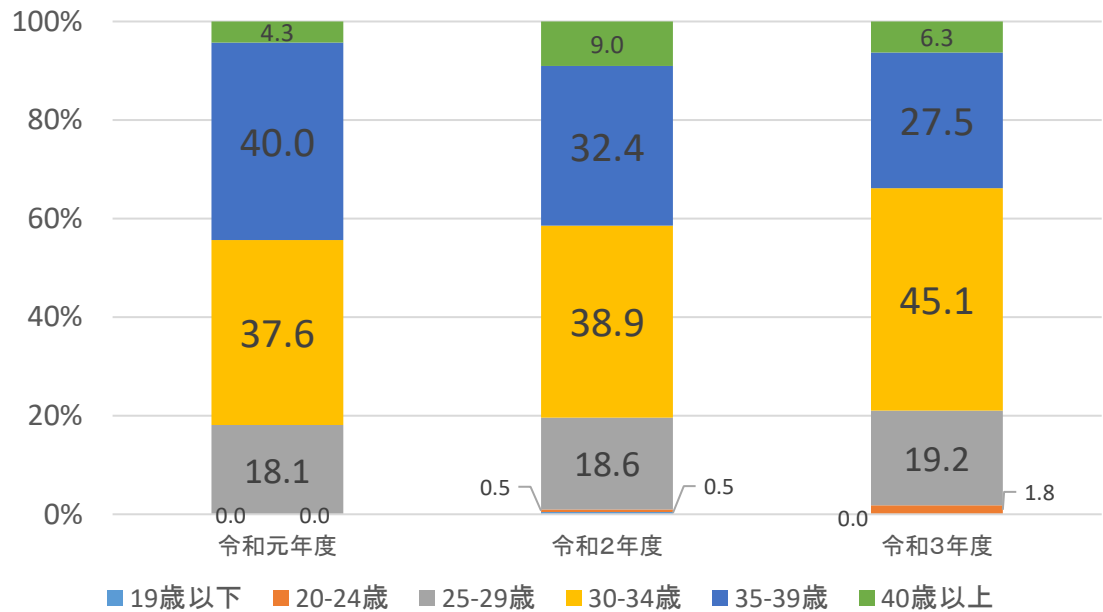


デイケアは半日～6時間での利用、宿泊は1～2泊の利用が多い

6 利用した母親の年代

(デイケア・宿泊)

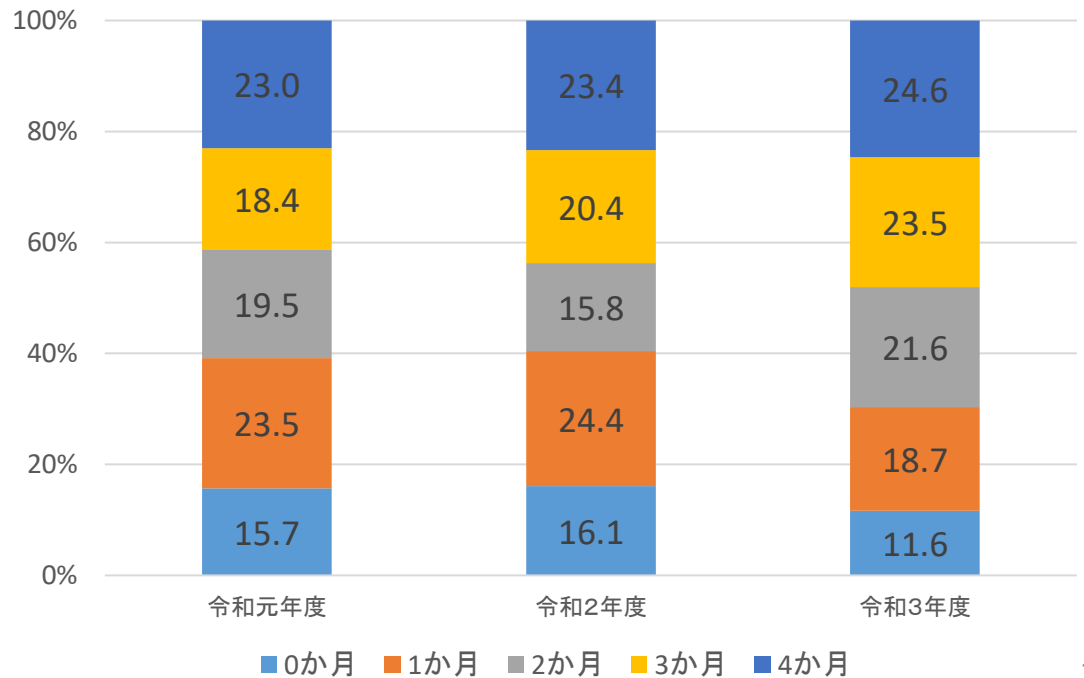
30代前半の母親の割合が増えている



7 子どもの月齢

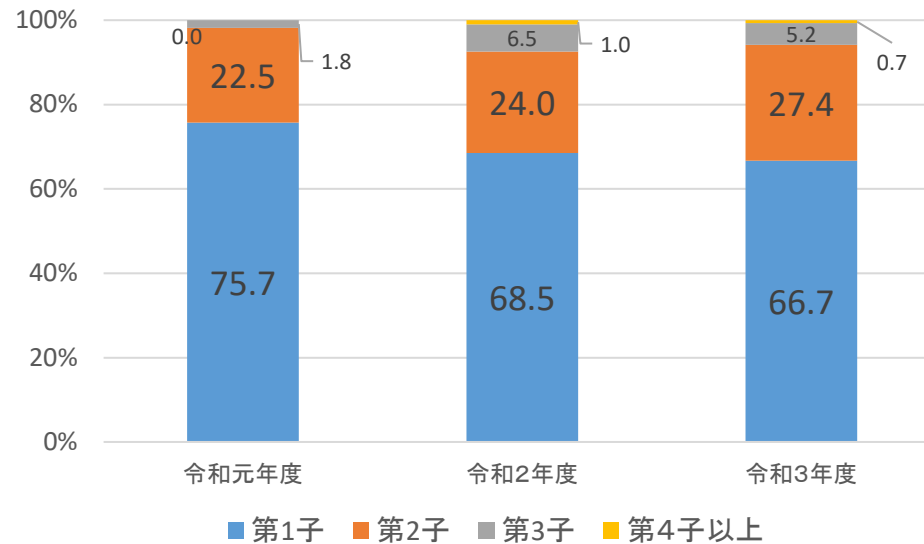
(デイケア・宿泊)

生後間もない時期より、生後2か月以降の利用が多い傾向にある

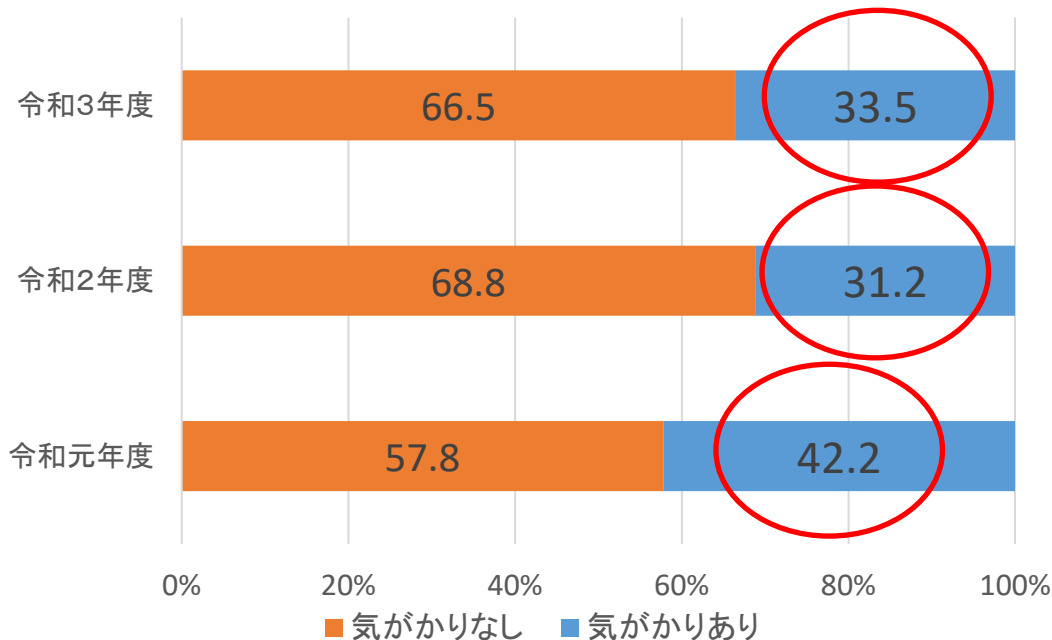


8 子どもの出生順位

(デイケア・宿泊)



9 気がかりな母子の利用内訳



利用者のうち、3~4割に
気がかりな要因あり

育児不安 41.7%
母の精神疾患 35.7%
(重複あり)

他、未婚やDV、虐待、家族間葛藤など、様々な要因あり。

富山広域連携中枢都市圏

[目的]

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が、近隣の市町村と連携することで一定の圏域人口を有し、コンパクト化とネットワーク化により、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する。

(総務省ホームページより一部抜粋)



平成29年9月

富山市 連携中枢都市宣言

平成30年1月

連携中枢都市圏形成に係る
1対1の連携協約の締結

富山市	⇔	滑川市
富山市	⇔	舟橋村
富山市	⇔	上市町
富山市	⇔	立山町

広域連携市町村の人口など

市町村名	人口(人)	世帯数 (世帯)	1世帯あ たり人員 (人)	出生数	出生率 (人口千対)	婚姻率 (人口千対)	高齢化率
滑川市	32,500	12,633	2.6	244	7.6	4.9	30.4
舟橋村	3,106	1,010	3.1	30	9.8	4.6	19.5
上市町	19,805	7,763	2.6	101	5.2	3.2	38.0
立山町	25,420	9,699	2.6	140	5.6	3.6	33.8
富山市	415,816	171,864	2.4	2,956	7.2	4.7	30.4

出典:富山県厚生部発行 令和元年 保健統計年報

ただし、高齢化率は富山県厚生部高齢福祉課ホームページ（令和3年10月1日現在）

産後ケア事業 連携の経緯

平成30年4月

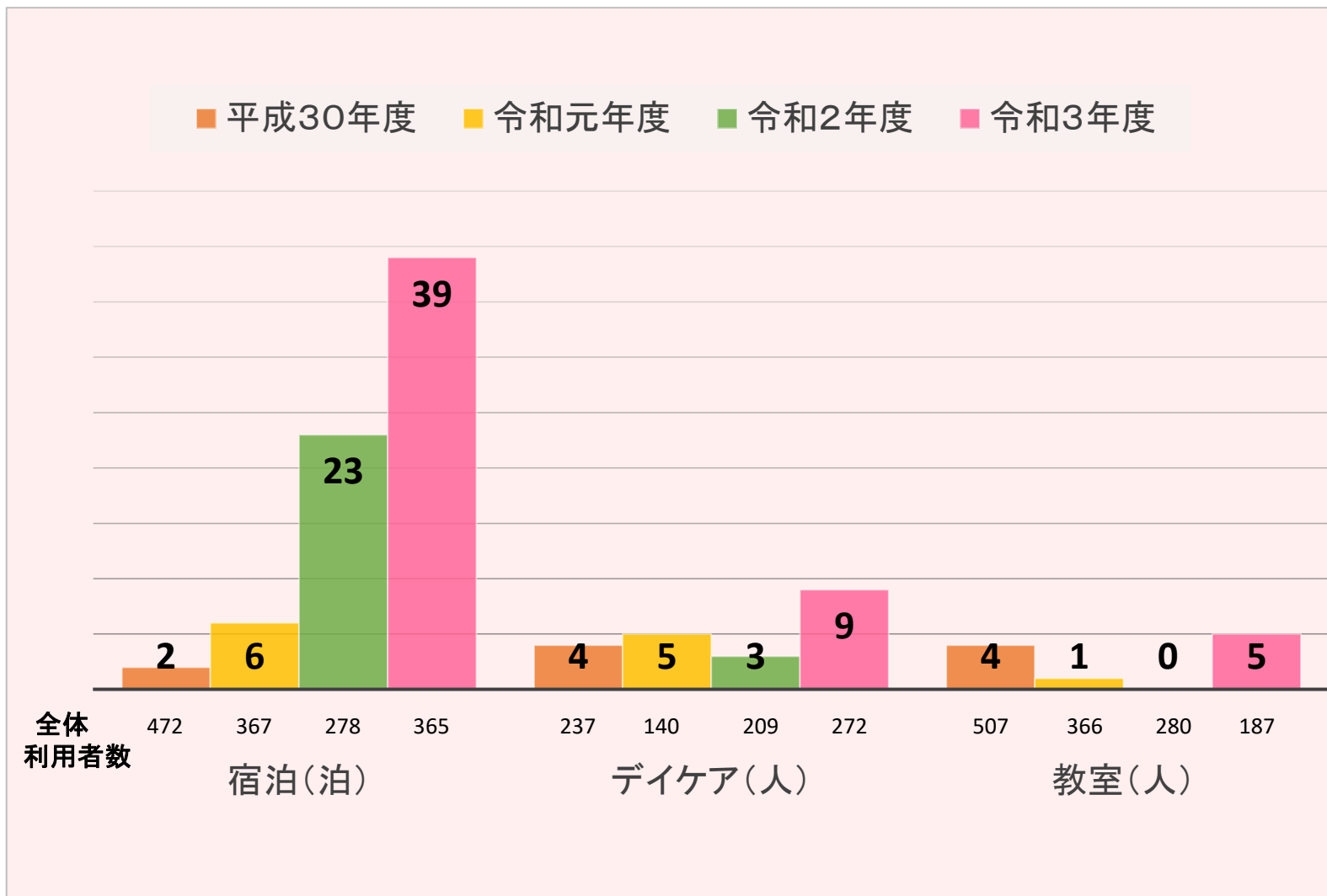
連携中枢都市圏(富山市、滑川市、立山町、舟橋村、上市町)における事業連携を開始。

良質な子育て環境の共有による圏域全体の出生率の向上等を目指し、地域包括拠点施設である「まちなか総合ケアセンター」の、産後ケア応援室事業、病児保育事業が、連携事業として選定。

富山市の産後ケア事業

種別	対象児	担当課	連携市町村の利用
宿泊型	5か月未満	まちなか総合ケアセンター 産後ケア応援室 (☎076-461-3541)	可
デイケア型			可
子育て教室	5か月未満		可
子育て交流ひろば 「ままのわ」	5か月 ～1歳まで		不可
居宅訪問型	1歳未満	こども健康課 (☎076-443-2248)	不可
産後のママ・ レスパイト事業	4か月未満		不可

連携市町村利用実績(産後ケア応援室)



【料金】

富山市民

連携市町村及び
富山市へ里帰りの方

種類	時間	食事等	利用者負担額	基本料金	利用期間
デイケア	9:30～19:00	2食(昼・夕)、間食2回	4,900円	8,100円	週毎に 2回まで
	9:30～13:00	1食(昼)、間食1回	1,800円	3,000円	
	9:30～15:30	1食(昼)、間食2回	3,100円	5,100円	
	13:00～19:00	1食(夕)、間食1回	3,100円	5,100円	
宿泊	9:30～翌9:30	1日目:2食(昼・夕)、 間食2回 2日目:1食(朝)	1日(24時間) 7,200円	1日(24時間) 12,000円	1回当たり 連続6泊まで
教室	10:00～12:00	間食1回	800円	800円	
	13:30～15:30				

- 連携市町村で助成制度あり。
「基本料金」と「利用者負担額」との差額は、
住民票のある市町村で還付申請により助成。
- お子さんが**双子**以上の方も、利用者負担額は**同じ金額**。

利用者の声

(利用者アンケートから)

- 富山市以外に住んでいても利用できたので、大変助かりました。
- 職場が富山市にあるため、大変便利に利用させていただいています。
- 家庭の事情で里帰りが難しく、夫も単身赴任のため不安でしたが、いざとなれば産後ケア応援室があることが、富山で出産を決意できた理由のひとつでした。
- コロナ禍での妊娠・出産で不安や心配が大きかったが、産院などで施設を紹介されて利用しました。産後にこんなに安心して過ごせたのは初めてでした。
- 産後なので、後から役場で還付の手続きをするのが少し面倒でした。

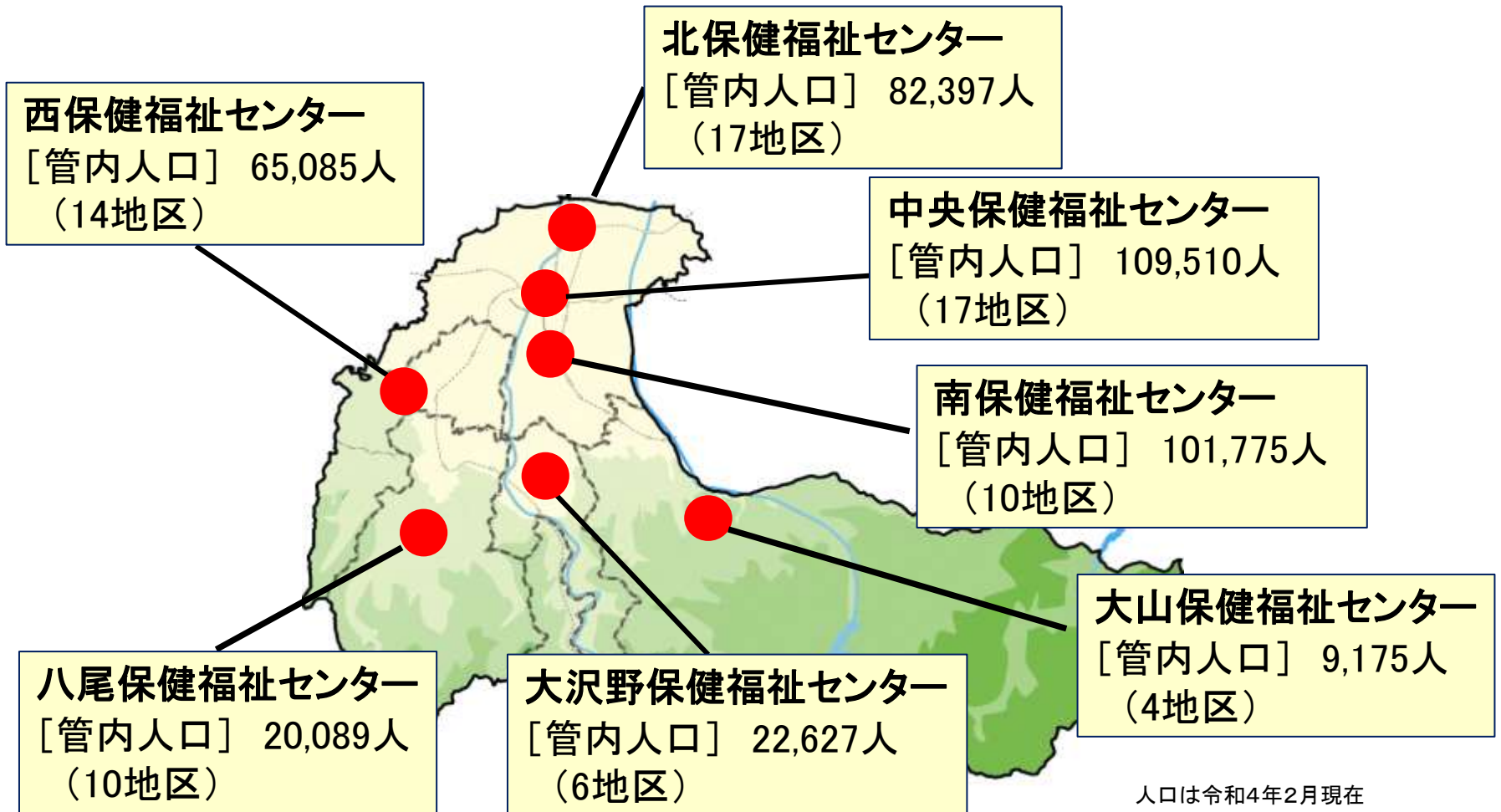


今後の課題

圏域全体の子育て環境の整備を促進するためにも、利用環境を更に整え、先進施設としての役割を果たすことが重要。

7か所の保健福祉センター(子育て世代包括支援センター)

- ◆ 平成27年10月 市内7つの保健福祉センターに設置
- ◆ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する体制を構築



妊娠期からの切れ目ない支援

◇母子健康手帳の交付・ママ手帳の交付

母子健康手帳の交付を、保健福祉センターに一元化。

交付の際は、「妊娠届出時質問票」の記載を依頼。

その後保健師等が面談し、立案した「子育てケアプラン」を「ママ手帳」に記載し共有。

地区担当保健師の紹介も行い、妊娠期から切れ目のない支援を目指す。

◇ベビーボックスプレゼント事業

赤ちゃん一人ひとりの誕生を祝福するとともに、育児の相談や支援のきっかけとするため、保健福祉センターで育児用品の詰め合わせをプレゼントするとともに、安心して子育てができるよう、保健師や看護師等が育児や健康に関する相談に応じる。



ベビーボックスの内容

市内の企業で製造されたものや、市の施設の招待券等で構成されています。

ブランケット、スタイ、ストローマグ、
スプーン・フォークセット、市の施設の招待券
(ファミリーパーク、科学博物館、ガラス美術館)

様々な機会を通じて予防的な関与・安心感につながる関係づくり



富山市子育て世代包括支援センター (保健福祉センター) をご利用ください。

富山市には、7つの子育て世代包括支援センター(保健福祉センター)があり、保健師など専門のスタッフが妊娠・出産・子育て期の様々な疑問、悩みについてサポートします。

～母子健康手帳をお住まいの地区を担当している子育て世代包括支援センターでもらいましょ～
富山市では、母子健康手帳を交付する際、保健師等の専門職が面談を行い、妊娠時から子育て期を安心して過ごすための子育てケアプランを記載した「ママ手帳」をお渡しします。市内7か所の子育て世代包括支援センター(保健福祉センター)で母子健康手帳を交付しています。お時間に余裕を持ってお越しください。

- 中央子育て世代包括支援センター
(中央保健福祉センター)
富中二丁目7-30
- 大沢野子育て世代包括支援センター
(大沢野保健福祉センター)
富中3丁目 TEL:467-5812 FAX:468-1645

お住まいの管轄の 子育て世代包括支援センターを紹介

- 南子育て世代包括支援センター
(南保健福祉センター)
穂川459-1(富山市保健所内)
TEL:428-1156 FAX:428-1150
【担当地区】
穂川、新南、新野、百鳥、北尾
- 大山水子育て世代包括支援センター
(大山水保健福祉センター)
上尾325 TEL:483-1727 FAX:483-3081
【担当地区】上尾、大山水、大庄、穂川

- 北子育て世代包括支援センター
(北保健福祉センター)
岩瀬文化町233-2
TEL:426-0050 FAX:426-9210
【担当地区】
奥山北、岩瀬、新南、大田原、片栗崎、
針原、新田、山田、川方、八幡、草津、
赤松、水橋中川、水橋西原、水橋東原、
三郷、上尾
- 八尾子育て世代包括支援センター
(八尾保健福祉センター)
八尾町南端300
TEL:455-2474 FAX:455-2491
【担当地区】八尾、保内、村赤、柳花、室宮、
美穂谷、野橋、川多、大田原、山田

- 西子育て世代包括支援センター
(西保健福祉センター)
富中町南端1105-7
TEL:468-0770 FAX:468-0772
【担当地区】
富中、長尾、東江、古沢、老田、池多、
富原、藤原、新田、新川、富中町南端、
池原、新川、新保

お気軽にご相談ください

— 富山市 —

子育て世代包括支援センターでは、妊娠、出産、子育て期の 様々な疑問・悩みについて、気軽にご相談いただけます！

例えば、
このような時は
「子育て世代包括支援センター」
にご相談ください！

例えば、
妊娠時から子育て期にわたるまで、
富山市のママ・パパは、
こんなサービスを受けられます

妊娠について不安なことがある

- ・出産までに何をそろえたらいいの？
- ・つわりで食べられないけど、赤ちゃんは喜んでいるの？
- ・夫にも出産量のことをイメージしてもらいたい

妊娠したかも…

- ・予定外の妊娠でこれからどうしたら…

育児が上手くいかない

- ・赤ちゃんが泣いている理由がわからない
- ・授乳や育児が上手くいかない
- ・母乳が足りているから心配

出産や育児で疲れがたまっている

- ・産後の身体がなかなか回復しない
- ・1時間でもいいから、ぐっすり寝たい
- ・子どもを産んでから、気分が落ちがち
- ・呆れりしても日中は子どもと2人きりでしんどい

うちの子ども大丈夫か心配

- ・他の子どもと比べて体格が小さい
- ・言葉が遅いといわれる
- ・かんしゃくがひどく、どうしたらいいかわからない

近くに相談できる人・協力してくれる人がいない

- ・夫は仕事の忙しさが遅くて手伝ってくれない
- ・祖父母が高齢で育児を頼れない

子育てがしんどい

- ・イライラして子どもにあたってしまう
- ・家族が理解してくれない
- ・体や心がしんどい

母子健康手帳・ママ手帳の交付

- ・保健師等が分娩のことなどをお聞きし、相談に応じます。

パパママセミナー

《妊娠5～8か月(16～31週)の妊娠とその夫》

妊婦訪問

電話相談

助産師ほっとライン(電話076-441-3573)

- ・助産師が24時間体制(年末年始除く)で電話相談に応じます。

母子健康手帳アプリ(育さぽとやまby母子)

- ・沐浴方法や赤ちゃんの抱き方など動画で見ることができま。
- ・郵便番号などを登録すると富山市からのお知らせが届きます。

新生児訪問(生後28日以内)

ベビーボックスプレゼント

- ・育児用品を詰め合わせたベビーボックスをプレゼントします。お返しする際に保健師等が育児相談に応じます。

産後ヘルパー派遣

産後ケア応援室(宿泊・通所)

- ・出産直後から産後4か月まで利用できます。
- ・産後のママが休息したり、3か月までの育児を一時的に休ませます。

自宅で受けられる産後のケア

- ・助産師が訪問し、授乳や沐浴などの相談に応じます。

電話相談

乳幼児健康相談

乳幼児健診(4か月・1歳6か月・3歳児)(集団健診)

赤ちゃん教室(4～6か月児)

仲間づくりの赤ちゃん教室(各地区で開催)

保健師訪問

- ・お子さんの成長発達に合わせた相談に応じます。

Youtubeはじめの離乳食

- ・離乳食の作り方を動画で紹介しています。

問い合わせ先 こども健康課 TEL.076-443-2248

妊娠届出時質問票

妊娠届出書を出された方・転入された方へ

富山市こども健康課・保健福祉センター

富山市には、7つの保健福祉センター（子育て世代包括支援センター）があり、保健師や栄養士など専門のスタッフが地域の子育てに関する情報等をお伝えしながら支援しています。

妊娠届出時質問票にご記入いただき、妊婦さんの気持ちに寄り添いながら、妊娠・出産・育児に関する悩みや不安を少しでも軽くできるようなお手伝いをしたいと思っています。

この質問票では、妊婦さんの健康状態や、生活の状況、心理的な状況などについてお聞きしていますが、記入しづらい部分には無理をしてお答えいただく必要はありません。

記入されない場合でも、不利益が生じることはありません。

また、この質問票をもとに、保健福祉センター（子育て世代包括支援センター）では、子育てケアプランを提案してお渡しします。大切な妊娠・出産期を安心して過ごしていただくためのサポートプランをぜひ参考にいただければと思います。

なお、この質問票は、市で管理し保健事業以外で使用するのではなく、妊婦さんの健康管理のために使用させていただき、プライバシーの保護に配慮いたします。



私は妊娠届出時質問票について、その目的や内容・方法について、また、回答する結果の個人的な秘密が守られることについて、説明を受け、

質問票を記入すること

子育てケアプランの内容を市と共有すること

について同意します。（同意する場合、を入れてください）

令和 年 月 日

住所 _____

氏名 _____ (続柄 _____)

妊娠届出時質問票は裏面です



母子健康手帳交付年度 R 年度 交付年月日 記号番号

妊 娠 届 出 時 質 問 票

妊婦さんが安心して出産できるよう相談や情報提供を行うために、質問票のご協力をお願いします。

今回の妊娠	①現在の妊娠週数 妊娠()週				
	②妊娠がわかったときの気持ちで一番近いものに○をつけてください ・とても嬉しかった ・予想外で驚いたが嬉しかった ・困った ・特に何も思わなかった ・嫌になった ・その他()				
これまでの妊娠・分娩	順	性	出産年月	妊娠・分娩の異常	出産時の児の状況
	例	男	○年 ○月	無・④(流産)	健・否()
	1		年 月	無・有()	健・否()
	2		年 月	無・有()	健・否()
	3		年 月	無・有()	健・否()
※流産・早産・死産を含める	4		年 月	無・有()	健・否()
	5		年 月	無・有()	健・否()
生活習慣	① 食生活で気をつけているところはありますか 妊娠前 … あり [3食食べる・食事の内容・食事の時間・間食・その他] ・なし 現在 … あり [3食食べる・食事の内容・食事の時間・間食・その他] ・なし				
	② つわりは落ち着いてきましたか		はい ・ いいえ		
	③ 睡眠や休息は十分にとれていますか		はい ・ いいえ		
	④ 妊娠前から体重の変化はありますか		いいえ ・ はい(増加した・減少した)		
	⑤ たばこは吸いますか		いいえ ・ はい(現在 本/日)		
	⑥ 家族の喫煙状況		なし ・ あり(誰が 本/日)		
	⑦ 妊娠してからアルコールを飲んでいますか		いいえ ・ はい(毎日・週2~3回 ・週1回以下)		
健康状態	① 今回の妊娠中に、赤ちゃんやあなたの身体に医師から何か問題があるとされていますか				いいえ ・ はい
	② 今までに心理的・精神的な問題で精神科、心療内科等に相談したことがありますか				いいえ ・ はい
	③ この1年間に、うつ状態が2週間以上続いたことがありますか (不眠、イライラする、涙ぐみやすい、何もやる気がしない、食欲不振、精神症状があるなど)				いいえ ・ はい
生活環境	① 困ったときに相談する人、何でも打ち明けることのできる人はいますか? いる(誰:) ・ いない				
	② 妊娠・出産・育児について相談・協力してくれる人はいますか いる(誰:) ・ いない				
	③ 入籍について 入籍済 ・ 入籍予定(年 月) ・ 入籍予定なし				
	④ 生活が苦しかったり、経済的な不安がありますか				
現在お困りのことや心配事があれば○をつけてください					
・ご自身の健康面 ・お腹の赤ちゃんのこと ・上の子どものこと ・仕事のこと ・夫との関係(DVなど) ・あなたの実父母のこと ・その他()					
※現在の妊娠週数が20週以降の方のみ記入してください 妊娠届が今日になった理由に○をつけてください ・時間がなかった ・体調が悪かった ・届出方法が分からなかった ・妊娠に気づかなかった ・婚姻や転入手続きを待っていた ・忘れていた ・その他()					
※外国籍の方にお尋ねします 日常の会話について当てはまるものに○をつけてください ・日本語 ・日本語とその他() ・その他(語のみ)					

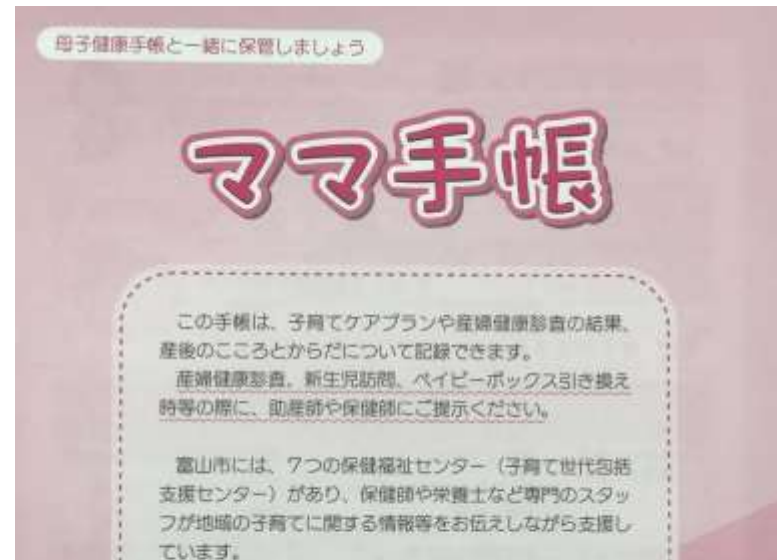
※ 以上で質問票は終了になります。ご協力ありがとうございました。
この質問票により、保健師が家庭訪問や連絡をとる場合があります。
いただいた個人情報は市で管理し、保健事業以外で使用することはありません。

子育てケアプラン・支援プラン(保健師用)

子育てケアプラン ・ 支援プラン		
氏名	住所 (地区)	
生年月日 S・H 年 月 日()歳	就労 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(職種:)	
出産予定日 令和 年 月 日	出産予定病院 初産・経産	
1 面接状況 (面接日: 令和 年 月 日 対応者: 保健福祉センター _____)		
面接者	妊婦本人 ・ 夫(パートナー) ・ その他()	
妊娠に関する要因	年齢	<input type="checkbox"/> 35歳以上の初産婦、40歳以上の経産婦で、妊娠中のことや育児について等、不安が高い <input type="checkbox"/> 20歳未満の妊娠 <input type="checkbox"/> 過去の若年妊娠
	婚姻状況	<input type="checkbox"/> ひとり親※ <input type="checkbox"/> 未婚(今後も入籍の予定なし)※ <input type="checkbox"/> ステップファミリー
	妊娠状況	<input type="checkbox"/> 20週以降の届出 <input type="checkbox"/> 妊婦健診未受診、中断あり <input type="checkbox"/> 望まない妊娠 (妊娠がわかったときの気持ちが「困った、特に何も思わなかった、嫌になった」等) <input type="checkbox"/> 胎児に関して無関心・拒否的な言動 <input type="checkbox"/> 今までに妊娠・中絶を繰り返す <input type="checkbox"/> 飛び込み出産歴あり <input type="checkbox"/> 多胎や胎児に疾患や障害がある
心身の健康等の要因	<input type="checkbox"/> 精神科への受診歴、相談歴がある <input type="checkbox"/> 知的障害(疑い含む) <input type="checkbox"/> 同じ質問を何度も繰り返す、理解力の不足がある <input type="checkbox"/> 身体障害・慢性疾患がある <input type="checkbox"/> 訴えが多く、不安が高い <input type="checkbox"/> 飲酒、喫煙をやめることができない	
家族・家庭の状況	夫(パートナー)との関係	<input type="checkbox"/> DVを受けている <input type="checkbox"/> 夫婦の不和、対立がある <input type="checkbox"/> 夫(パートナー)の協力が得られない
	社会・経済的背景	<input type="checkbox"/> 生活保護受給中 <input type="checkbox"/> 夫婦ともに不安定就労・失業中 <input type="checkbox"/> 健康保険未加入 <input type="checkbox"/> 住所不定・居住地がない <input type="checkbox"/> 上記以外の経済的困窮や社会的問題がある
	虐待歴等	<input type="checkbox"/> 保護者自身に被害歴がある <input type="checkbox"/> 過去に心中未遂(自殺未遂)がある
	きょうだいの状況	<input type="checkbox"/> 胎児のきょうだいへの虐待行為がある(過去または現在、おそれも含む)
	サポート等の状況	<input type="checkbox"/> きょうだいに重度の疾病、障害等がある <input type="checkbox"/> 妊婦自身の家族に頼ることができない <input type="checkbox"/> 周囲からの支援に対して拒否的 <input type="checkbox"/> 近隣や地域から孤立している家庭
その他	<input type="checkbox"/> 上記に該当しない気になる言動や背景、環境がある ()	
<small>総合的にアセスメントを行い、継続支援が必要と判断した場合は要フォローとする。 ・上記項目に1つでも当てはまれば、要フォロー(支援プラン)とする。 ただし、※(ひとり親、未婚)については、他の状況もふまえ総合的に判断を行う。</small>		

2 アセスメント	<input type="checkbox"/> 安心して出産を迎えられるよう、母子保健サービス等の情報提供を行うことが必要 <input type="checkbox"/> 子育てに対して不安や孤立感を抱く可能性があるため、継続的な支援が必要(※) <input type="checkbox"/> 育児不安や精神不安定な状態が予測され、継続的な支援が必要(※) <input type="checkbox"/> 不適切な養育環境、虐待のリスクがあるため、継続的な支援が必要(※) <input type="checkbox"/> 経済的に不安があり、継続的な支援が必要(※) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 支援内容	<input type="checkbox"/> 子育てケアプランの作成 <input type="checkbox"/> 母子保健サービス、子育て支援情報等の提供 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
※以下は支援プラン対象者のみ記載	
4 地区担当保健師への連絡事項	<input type="checkbox"/> 地区担当保健師へ連絡(地区名: _____ 地区担当保健師: _____) ()
5 今後の支援計画	令和 年 月 日 所内協議(メンバー: _____) 支援方針 () <input type="checkbox"/> 電話相談(_____ 月) <input type="checkbox"/> 妊婦訪問(_____ 月) <input type="checkbox"/> 関係機関への連絡 (<input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> こども健康課 <input type="checkbox"/> 児童相談所 <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> 出産後の新生児訪問 <input type="checkbox"/> 産後ケア応援室 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
次回プラン見直し時期: 令和 年 月 日(予定)	

母子健康手帳 + ママ手帳



地区担当保健師の名前と、管轄の子育て世代包括支援センターの連絡先を記入

氏名	生年月日	年	月	日
母子健康手帳番号	出産予定日	年	月	日
	出産年月日	年	月	日

あなたのお住まいの地区の担当は

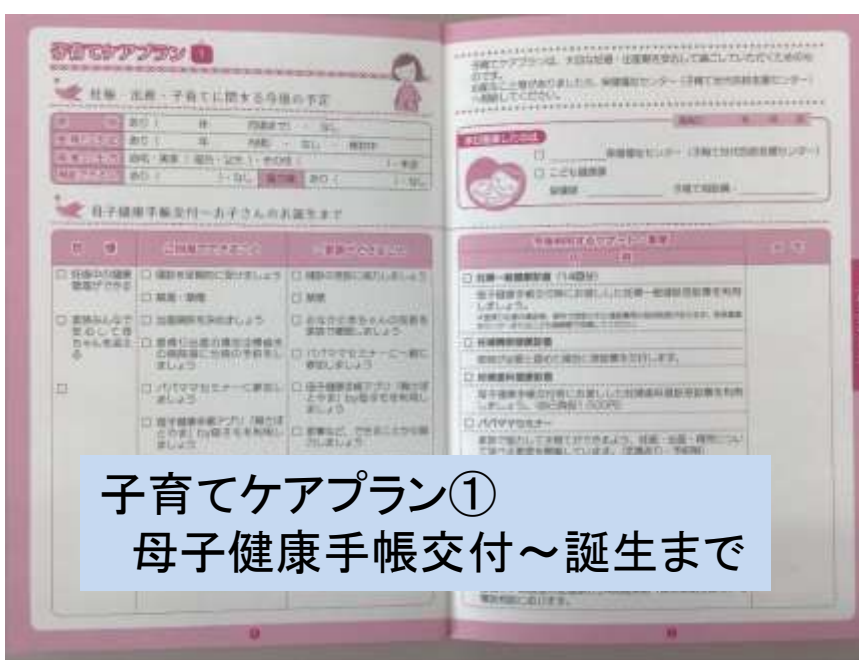
保健福祉センター（子育て世代包括支援センター）

TEL:

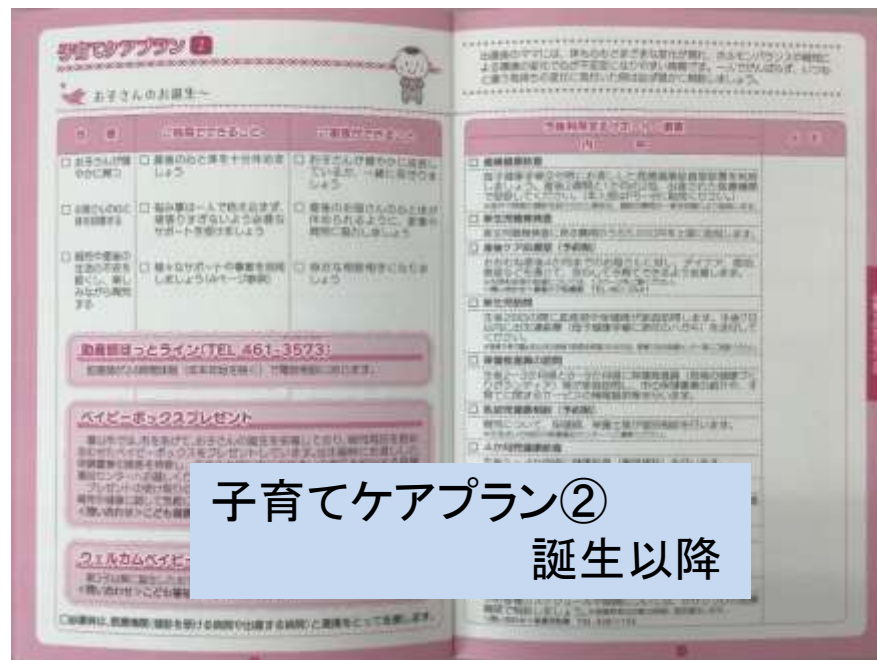
年度 _____ 地区担当保健師: _____

年度 _____ 地区担当保健師: _____

富山市

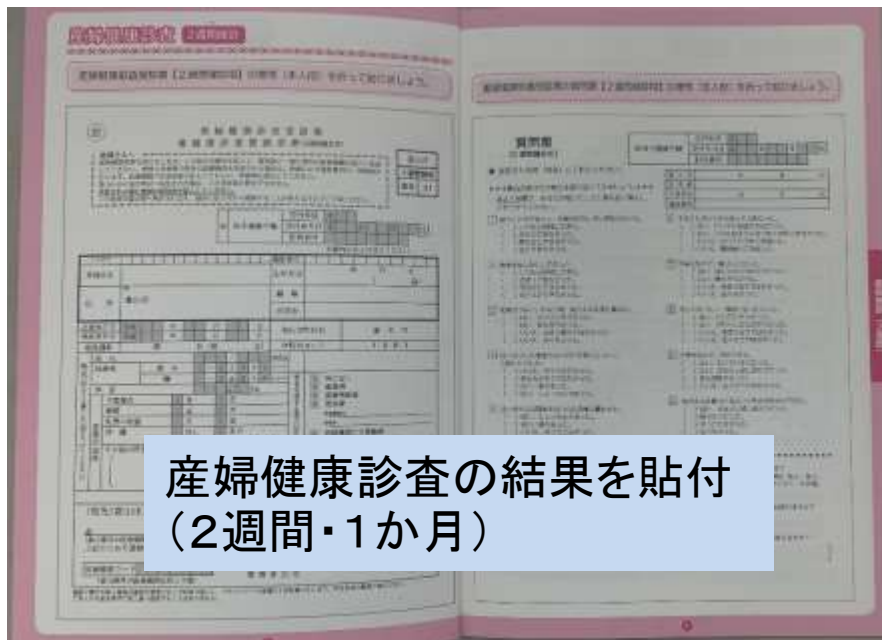


子育てケアプラン①
母子健康手帳交付～誕生まで

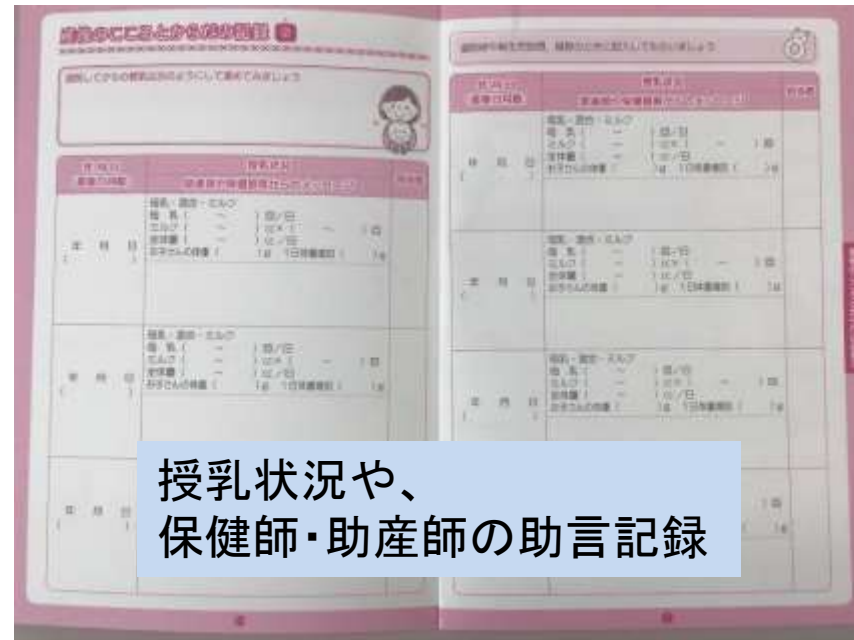


子育てケアプラン②
誕生以降

ママ手帳の内容



産婦健康診査の結果を貼付
(2週間・1か月)



授乳状況や、
保健師・助産師の助言記録

医療機関等連携会議の開催

関係機関の顔の見える関係づくり、連携の強化

- 平成29年度より、年1回開催。
- 参加者（令和3年度実績 21名）
 - ＜医療機関＞ 市内総合病院等の産婦人科医・小児科医・精神科医
産科師長・産科助産師や看護師 等
 - * 分娩を取り扱わない産科医療機関も参加
 - ＜行政＞ 保健福祉センター（子育て世代包括支援センター）
まちなか総合ケアセンター、こども健康課
 - ★ 今後、訪問看護ステーション等の参加も検討。
- 報告事項
 - ・ 母子保健事業の現状（実績含む）
 - ・ 次年度新規母子保健施策について 等
- 協議（令和3年度の議題）
 - 1 関係機関間の連携強化について
 - 2 コロナ禍におけるアフターコロナ支援の在り方について 等

近年は
オンラインで開催



産前産後の支援の強化

◇ママサポートダイヤル事業 「助産師ほっとライン」

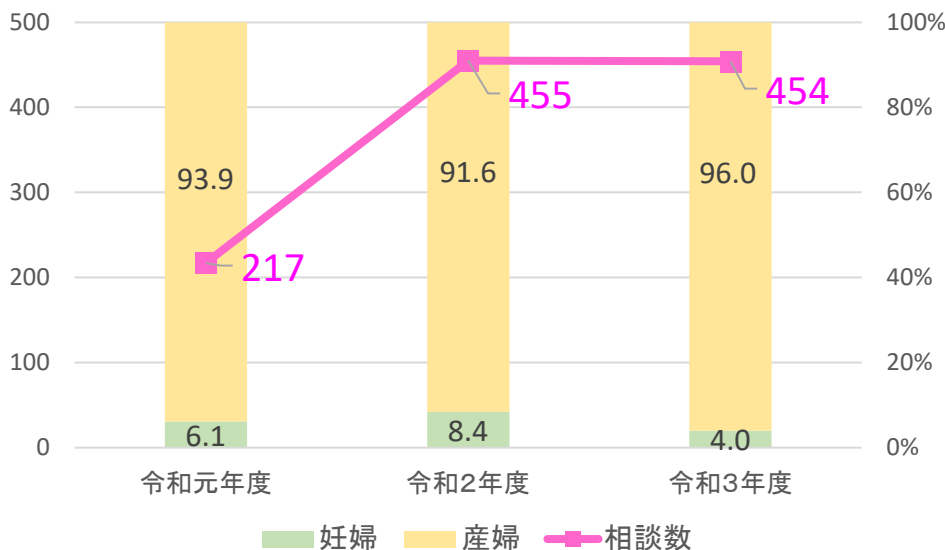
産前産後の体調や授乳などに関する電話相談に産後ケア応援室の助産師が24時間対応し、妊産婦の不安の軽減や産後のうつ等の予防を図るもの。

サンゴノナヤミ

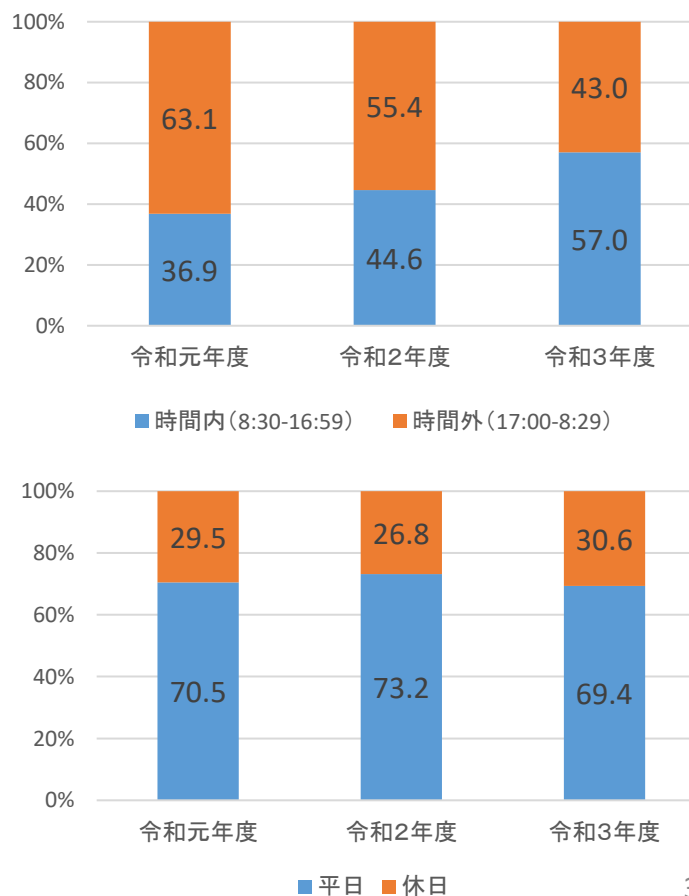
電話 076-461-3573



相談実績 (令和元年7月開始)



相談の時間帯・曜日



育児サポートネットワーク(富山市版ネウボラ)

すべての妊産婦・子育て世代等が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、
育児サポートネットワークを構築する。

- ・保健福祉センター(子育て世代包括支援センター)が関係機関や地域等と連携して支援する。
- ・新システムを活用し、児童虐待の発生予防や早期対応、重症化予防につなげる。

子育て支援に携わる機関・職員
(保育所・認定こども園・幼稚園・
こども発達支援室、子育て支援
センター・児童館・小中学校等の
職員等)

地域の子育てのサポーター
(保健推進員・民生児童委員・主
任児童委員・地域児童健全育成
指導員・ファミリーサポートセン
ター協力員・先輩ママ等)

医療機関
(産科、小児科、精神科等)

民間機関(訪問看護・ヘルパー事業所等)

児童相談所・女性相談センター・乳児院等

市役所関係各課等
(こども支援課・こども保育課・こども
福祉課・生活支援課・障害福祉課・
学校教育課・福祉政策課・
こども健康課等)

妊産婦・
子育て世帯等

臨床心理士・助産師等(在宅)

産後ケア応援室

子ども家庭総合支援拠点(こども健康課)

保健師・看護師・保育士・社会福祉士・
臨床心理士・家庭児童相談員等

【要保護児童対策調整機関】

保健福祉センター(子育て世代包括支援センター)

保健師・栄養士・子育て相談員(看護師)等

(※子育て相談員:中央・南・北・西保健福祉センターに配置)

保健・医療・福祉・保育・教育・地域が連携して子育て世代を応援!



越中おわら風の盆

セントラム（路面電車）

ご清聴ありがとうございました

